

平成20年度各会計当初予算

平成20年度の一般会計予算は、283億3,000万円、前年度比1.0%の減となっています。

一般会計、特別会計、企業会計を合わせた全会計の予算総額は、647億468万5千円、対前年度比11.9%の減となっています。

(単位:千円、%)

区 分	平成20年度 A	平成19年度 B	比 較 A-B=C	増減率 C/B*100	備 考 一般会計繰入金
一般会計	28,330,000	28,615,000	285,000	1.0	
特別会計	14,312,954	17,970,719	3,657,765	20.4	1,573,916
国民健康保険事業	7,664,229	7,600,520	63,709	0.8	517,497
地方卸売市場事業	18,832	25,241	6,409	25.4	-
老人保健	795,044	5,258,634	4,463,590	84.9	63,955
介護保険事業	5,291,023	5,016,326	274,697	5.5	807,284
温泉事業	54,793	69,998	15,205	21.7	26,921
後期高齢者医療	489,033	-	489,033	皆増	158,259
企業会計	22,061,731	26,888,404	4,826,673	18.0	2,379,543
水道事業	5,288,070	4,035,540	1,252,530	31.0	165,146
下水道事業	6,169,437	5,893,436	276,001	4.7	949,806
病院事業	10,604,224	16,959,428	6,355,204	37.5	1,264,591
合 計	64,704,685	73,474,123	8,769,438	11.9	3,953,459

企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

平成20年度一般会計当初予算の状況

歳入

(単位:千円、%)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	当初予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	増 減 A-B	増減率
1 市 税	6,802,981	24.0	6,961,870	24.3	158,889	2.3
2 地方譲与税	410,000	1.4	410,000	1.4	0	0.0
3 利子割交付金	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
4 配当割交付金	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	5,000	0.0	6,000	0.0	1,000	16.7
6 地方消費税交付金	670,000	2.4	670,000	2.3	0	0.0
7 ゴルフ場利用税交付金	22,000	0.1	24,000	0.1	2,000	8.3
8 自動車取得税交付金	140,000	0.5	140,000	0.5	0	0.0
9 地方特例交付金	62,000	0.2	68,000	0.2	6,000	8.8
10 地方交付税	9,070,000	32.0	8,826,000	30.9	244,000	2.8
11 交通安全対策特別交付金	15,961	0.1	15,287	0.1	674	4.4
12 分担金及び負担金	368,149	1.3	348,420	1.2	19,729	5.7
13 使用料及び手数料	264,173	0.9	236,052	0.8	28,121	11.9
14 国庫支出金	2,877,360	10.2	2,641,540	9.2	235,820	8.9
15 県支出金	2,294,388	8.1	2,244,786	7.9	49,602	2.2
16 財産収入	97,883	0.3	70,702	0.3	27,181	38.4
17 寄附金	1	0.0	1,900	0.0	1,899	99.9
18 繰入金	1,762,309	6.2	2,207,228	7.7	444,919	20.2
19 繰越金	50,000	0.2	50,000	0.2	0	0.0
20 諸収入	342,195	1.2	375,215	1.3	33,020	8.8
21 市債	3,050,600	10.8	3,293,000	11.5	242,400	7.4
歳入合計	28,330,000	100.0	28,615,000	100.0	285,000	1.0

歳出

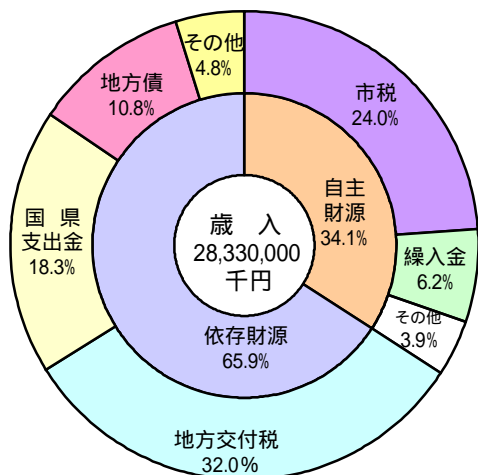
区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	当初予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	増 減 A-B	増減率
1 議会費	255,520	0.9	263,955	0.9	8,435	3.2
2 総務費	3,911,545	13.8	4,260,016	14.9	348,471	8.2
3 民生費	7,706,431	27.2	7,250,805	25.3	455,626	6.3
4 衛生費	3,114,739	11.0	3,722,978	13.0	608,239	16.3
5 労働費	27,937	0.1	29,957	0.1	2,020	6.7
6 農林水産業費	1,192,822	4.2	1,933,458	6.7	740,636	38.3
7 商工費	769,452	2.7	685,589	2.4	83,863	12.2
8 土木費	3,129,864	11.0	3,140,267	11.0	10,403	0.3
9 消防費	1,387,687	4.9	1,431,385	5.0	43,698	3.1
10 教育費	2,762,806	9.8	2,054,600	7.2	708,206	34.5
11 災害復旧費	19,308	0.1	18,276	0.1	1,032	5.6
12 公債費	4,001,889	14.1	3,773,714	13.2	228,175	6.0
13 予備費	50,000	0.2	50,000	0.2	0	0.0
歳出合計	28,330,000	100.0	28,615,000	100.0	285,000	1.0

平成20年度当初予算の分析

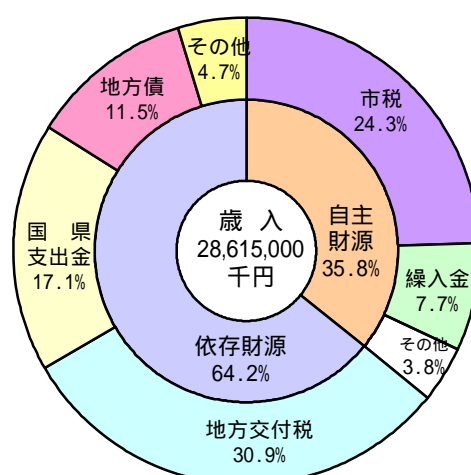
(1)歳入

(単位:千円、%)

区 分	平成20年度当初予算額		平成19年度当初予算額		比 較	
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減(A)-(B)	増減率
自主財源	9,687,691	34.1	10,251,387	35.8	563,696	5.5
市 税	6,802,981	24.0	6,961,870	24.3	158,889	2.3
分担金及び負担金	368,149	1.3	348,420	1.2	19,729	5.7
使用料及び手数料	264,173	0.9	236,052	0.8	28,121	11.9
財産収入	97,883	0.3	70,702	0.3	27,181	38.4
寄 附 金	1	0.0	1,900	0.0	1,899	99.9
繰 入 金	1,762,309	6.2	2,207,228	7.7	444,919	20.2
繰 越 金	50,000	0.2	50,000	0.2	0	0.0
諸 収 入	342,195	1.2	375,215	1.3	33,020	8.8
依存財源	18,642,309	65.9	18,363,613	64.2	278,696	1.5
地方譲与税	410,000	1.4	410,000	1.4	0	0.0
利子割交付金	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
配当割交付金	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
株式等譲渡所得割交付金	5,000	0.0	6,000	0.0	1,000	16.7
地方消費税交付金	670,000	2.4	670,000	2.3	0	0.0
ゴルフ場利用税交付金	22,000	0.1	24,000	0.1	2,000	8.3
自動車取得税交付金	140,000	0.5	140,000	0.5	0	0.0
地方特例交付金	62,000	0.2	68,000	0.2	6,000	8.8
地方交付税	9,070,000	32.0	8,826,000	30.9	244,000	2.8
交通安全対策特別交付金	15,961	0.1	15,287	0.1	674	4.4
国庫支出金	2,877,360	10.2	2,641,540	9.2	235,820	8.9
県 支 出 金	2,294,388	8.1	2,244,786	7.9	49,602	2.2
市 債	3,050,600	10.8	3,293,000	11.5	242,400	7.4
歳入合計	28,330,000	100.0	28,615,000	100.0	285,000	1.0



【平成20年度】



【平成19年度】

市税は、団塊世代の退職者の増による課税対象者の減及び個人所得の伸び悩みなどによる減収を見込み、対前年度比2.3%減の68億298万1千円としております。

地方交付税は、地域間格差是正のため「地域再生対策費」が新たに措置されることなどから対前年度比2.8%増の90億7,000万円としております。

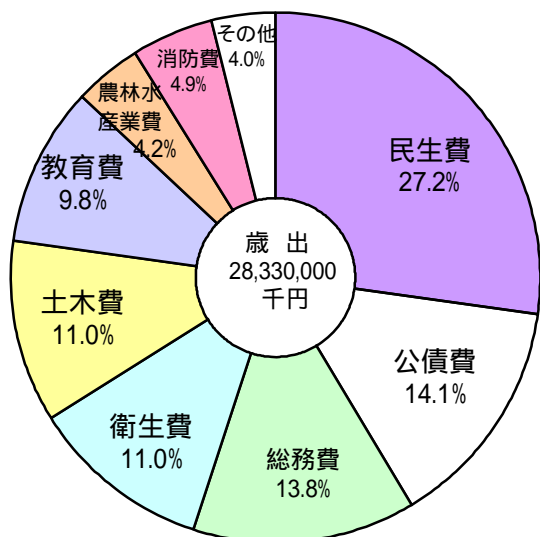
市債は、臨時財政対策債(6億4,300万円)及び高金利債の借換債(1億4,920万円)を除く普通建設事業等に対する事業債は、対前年度比12.9%減と抑制を図り、市債残高の縮減を図りました。

財源不足を補う財政調整基金からの繰入金は、対前年度比18.5%減の6億7,089万円としました。

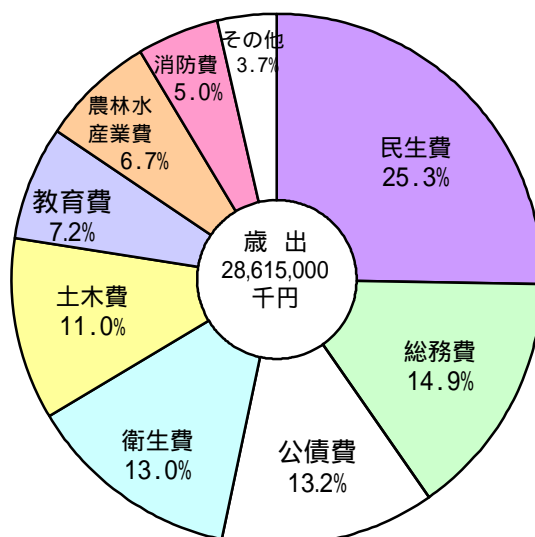
(2) 歳出～目的別予算

(単位:千円、%)

区 分	平成20年度当初予算額		平成19年度当初予算額		比 較	
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減(A)-(B)	増減率
1 議 会 費	255,520	0.9	263,955	0.9	8,435	3.2
2 総 務 費	3,911,545	13.8	4,260,016	14.9	348,471	8.2
3 民 生 費	7,706,431	27.2	7,250,805	25.3	455,626	6.3
4 衛 生 費	3,114,739	11.0	3,722,978	13.0	608,239	16.3
5 労 働 費	27,937	0.1	29,957	0.1	2,020	6.7
6 農 林 水 産 業 費	1,192,822	4.2	1,933,458	6.7	740,636	38.3
7 商 工 費	769,452	2.7	685,589	2.4	83,863	12.2
8 土 木 費	3,129,864	11.0	3,140,267	11.0	10,403	0.3
9 消 防 費	1,387,687	4.9	1,431,385	5.0	43,698	3.1
10 教 育 費	2,762,806	9.8	2,054,600	7.2	708,206	34.5
11 災 害 復 旧 費	19,308	0.1	18,276	0.1	1,032	5.6
12 公 債 費	4,001,889	14.1	3,773,714	13.2	228,175	6.0
13 予 備 費	50,000	0.2	50,000	0.2	0	0.0
歳 出 合 計	28,330,000	100.0	28,615,000	100.0	285,000	1.0



【平成20年度】



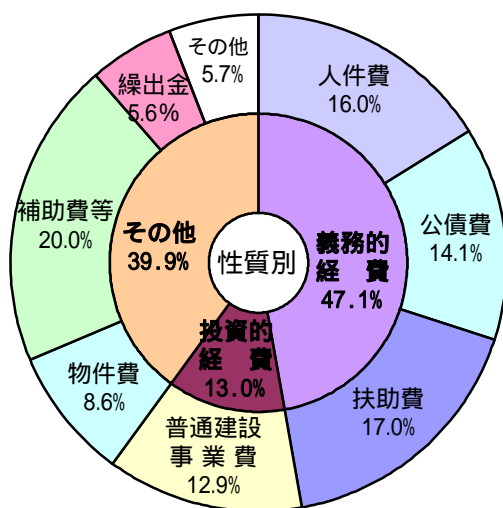
【平成19年度】

当初予算の目的別における増減を対前年度比で見ると、
 総務費では、野外文化芸術ゾーン整備事業における現代美術館建設事業終了などで8.2%減
 民生費では、後期高齢者医療に係る特別会計繰出金及び医療給付費負担金などにより6.3%増
 衛生費では、水道事業における第6次拡張事業に対する繰出金の減により16.3%減
 農林水産業費では、かんがい排水事業(国営事業負担金)の減により38.3%減
 商工費では、現代美術館開館、観光施設整備事業等により12.2%増
 教育費では、西小学校建設事業、学校施設耐震化事業により34.5%の増
 公債費では、高金利の公的資金の繰上償還により6.0%の増となっています。

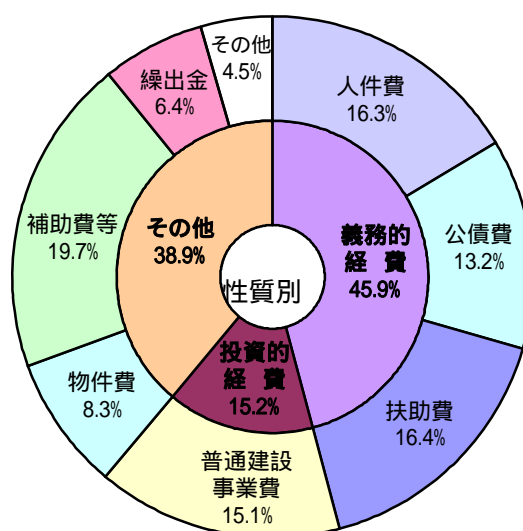
(3)歳出～性質別

(単位:千円、%)

区 分	平成20年度当初予算額		平成19年度当初予算額		比 較	
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減(A)-(B)	増減率
義務的経費	13,357,326	47.1	13,136,095	45.9	221,231	1.7
人件費	4,528,033	16.0	4,665,669	16.3	137,636	2.9
公債費	4,001,889	14.1	3,773,714	13.2	228,175	6.0
扶助費	4,827,404	17.0	4,696,712	16.4	130,692	2.8
投資的経費	3,663,155	13.0	4,339,631	15.2	676,476	15.6
普通建設事業費	3,643,847	12.9	4,321,355	15.1	677,508	15.7
補助事業	764,724	2.7	480,000	1.8	284,724	59.3
単独事業	2,705,136	9.6	3,027,757	10.6	322,621	10.7
国営事業負担金	173,987	0.6	813,598	2.8	639,611	78.6
受託事業	0	0.0	0	0.0		
災害復旧事業費	19,308	0.1	18,276	0.1	1,032	5.6
その他	11,309,519	39.9	11,139,274	38.9	170,245	1.5
物件費	2,432,849	8.6	2,362,725	8.3	70,124	3.0
補助費等	5,670,605	20.0	5,643,927	19.7	26,678	0.5
繰出金	1,576,335	5.6	1,834,854	6.4	258,519	14.1
その他	1,629,730	5.7	1,297,768	4.5	331,962	25.6
	28,330,000	100.0	28,615,000	100.0	285,000	1.0



【平成20年度】



【平成19年度】

当初予算の性質別における増減を対前年度比で見ると、義務的経費である人件費、扶助費、公債費は1.7%の増となっています。これは、職員数の削減等により人件費は2.9%減となっているものの、扶助費である社会保障関係費の増加や高金利の公的資金の繰上償還による公債費の増によるものです。

投資的経費では、西小学校建設による事業費の増はあるものの、野外芸術文化ゾーン整備事業における現代美術館建設の終了、かんがい排水事業(国営事業負担金)の前年度での一括償還等により15.6%の減となっています。

その他の経費では、繰出金において、老人保健制度から後期高齢者医療制度への移行により老人保健会計への繰出金の大幅な減により14.1%の減となっております。